

平成30年度（第3回）  
福岡市総合図書館運営審議会

日時：平成31年3月19日（火）

10時00分～11時50分

場所：福岡市総合図書館 第2会議室

〔次第〕

1 開会

館長挨拶

2 議事

議題 平成31年度事業計画について

3 報告事項

報告1 平成31年度予算及び機構について

報告2 福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の策定について

4 閉会

## 平成31年度事業計画について

平成26年6月に策定した「福岡市総合図書館新ビジョン」の基本理念である「市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館」をめざし、魅力ある図書館づくりを推進する。

### 1 図書資料部門

#### (1) 図書資料の収集・整理・保存

総合図書館（本館）と各分館との緊密なネットワークを運営し、図書、逐次刊行物、新聞の収集について、一層の充実に努め、本館での基本資料の一元的保存を行う。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
資料収集の充実	<p>公共図書館としての役割を發揮するため、図書館資料収集方針に基づき資料収集を行う。</p> <p>また、子どもの読書活動を推進するため、絵本や紙芝居を含めた児童書や子育て支援に関する図書の充実に努める。</p>	通 年

#### (2) 貸出・返却サービスの充実

交通不便等の理由により来館困難な利用者へのサービスの向上を図るため、市中心部、交通結節点など市内11カ所に図書返却ポスト等を設置しており、また、福岡県立図書館との相互返却サービスの提供を行うとともに有料宅配サービスを実施している。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
貸出・返却拠点等の新設検討	<p>図書館利用者の利便性の向上を図るため、図書の貸出・返却拠点の新設を検討する。</p>	通 年

### (3) レファレンスサービスの充実

利用者から寄せられる質問・相談に対し、一般参考、人文科学、社会科学、自然科学、国際、国連などの所蔵資料やオンラインデータベース等の電子情報を活用して、レファレンスサービスの充実を図る。

主な事業名	内 容	実施時期
レファレンス協同データベース事業におけるレファレンス事例の提供	国立国会図書館が実施する同事業を通じて、総合図書館におけるレファレンス事例の中から選択したものを一般公開する。 (平成25年5月から実施)	通 年
レファレンス情報の提供	レファレンス事例を活用し、レファレンスガイドの発行やイベント等を通じて情報提供を行う。また、ホームページでの提供方法を検討する。	通 年
国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供	国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料について、総合図書館が設置する端末から閲覧することができるサービスを提供する。 (平成26年1月から実施)	通 年
電子メールによるレファレンスサービスの提供	図書館サービスの充実と利便性の向上を図るため、電子メールにより、図書・文書・映像資料に関するレファレンスサービスを提供する。 (平成28年8月から実施)	通 年

### (4) 情報提供の充実

本市関連部局及び国・県等関係機関と連携を図りながら、図書館資料を活用した情報提供などを行う。

主な事業名	内 容	実施時期
課題解決型支援	ビジネス支援として福岡県中小企業診断士協会と連携した「起業・経営相談会」を継続実施する。 (平成28年4月から実施) また、医療情報の提供を目的に九州がんセンターと協力してシリーズで開催している、がんに関する講演会を継続実施する。 (平成28年10月から実施)	〔起業・経営相談会〕 毎月第2・4日曜日  〔講演会〕 2019年 第7回 4月13日

## (5) 読書普及活動

読書活動ボランティア講座や講演会等を行う。

主な事業名	内 容	実施時期
読書活動 ボランティア講座 ・絵本の読み聞かせコース ・ストーリーテリングコース	地域における子どもの読書活動の支援として、地域で活動する読書ボランティアの育成と資質の向上を目指して実施する。	2019年5月～ 2020年2月
おはなし会	乳幼児から小学生を対象として絵本の読み聞かせや紙芝居などを行い、本への親しみと読書の楽しさを伝え、子どもが本とつながる機会を提供する。	毎週土、日曜日
赤ちゃん向け おはなし会	ブックスタート事業のフォローアップとして、0～2歳児と保護者を対象にわらべうたや絵本の読み聞かせを行い、絵本に親しみ、お話の楽しさを知り、読書へのきっかけづくりとなるよう機会を提供する。	毎月第2金曜日
布の絵本講習会	手づくり布の絵本の会と共催により、手づくり布の絵本作成の講習を実施する。 (平成13年度から実施)	2019年 5月～7月、 9月～11月 (予定)
夏休み図書館の 達人講座	小学4～6年生を対象に、夏休みの自由研究にも役立つような図書館を利用した調べ学習の方法を学ぶ等、図書館利用に関する基本的知識の習得を図る。 (平成22年8月から実施)	2019年8月 (予定)
福岡市ブックスタート事業「絵本ふれあいタイム」ボランティア研修	乳幼児の4ヶ月児健診の機会に赤ちゃんに絵本を手渡すブックスタート事業に関し、絵本の読み聞かせの楽しみ方や赤ちゃんとの遊び方等を説明、実演するボランティアの研修を実施するほか、絵本の選定についての助言を行う。 (平成16年度から実施)	2019年9月 (予定)
大人向けイベント	成人を対象とした読書会や教養講座等を実施し、読書普及や図書館活用促進を図る。	各館での実施内容及び時期を検討中
企画展示	各部門においてテーマを設定し、テーマに沿った図書の展示やブックリストの配布などを行う。 なお、10月は図書館マンスとし、全館統一テーマを定め、各館・各部門において、サブテーマを設定し、図書の展示等を行う。	毎 月

(6) 子どもへの読書普及

子ども読書活動推進計画等に基づき、子どもへの読書普及を推進する。

主な事業名	内 容	実施時期
モデル児童図書リストの配布	<p>子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安となるよう、各年齢層に応じた本を紹介したリストを毎年度発行、配布し、子どもの読書推進に寄与する。</p> <p>※モデル児童図書リストの配付状況 幼児用，小学1・2年生，小学3・4年生，小学5・6年生を平成30年4月発行し、約4,300部を配付した。 (平成29年4月から発行形態を見直して実施)</p>	2019年4月
子どもの貸出カード作成推進	<p>授業の一環として図書館見学など様々な場面で、来館する児童・生徒のうち、図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの事前登録を奨励する。</p>	通 年
ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化	<p>ヤングアダルトコーナーの設置や推薦図書に関するリストの配布などの事業を継続する。</p> <p>また、平成29年度より試験的に実施している市立高等学校を対象とした図書資料の調べ学習用に貸出する制度を継続し、ヤングアダルト層への図書館利用促進を図る。</p> <p>ビブリオバトルなどヤングアダルト向けイベントを実施する。</p>	通 年

### (7) 地域読書活動への支援

団体貸出サービスの充実を図り、公民館等の図書コーナー等の運営や環境整備への支援を推進する。

主な事業名	内 容	実施時期
団体貸出先の拡大	配本件数の増加に対応できるよう効率的な配本を行い、未登録の留守家庭子ども会、及び公民館文庫や、高齢者施設、病院等への団体貸出先の拡大を図る。 (平成27年4月から実施)	通 年
地域読書活動への支援	公民館等で子ども達など地域住民への読書普及活動を行う地域読書活動団体の活動状況やニーズを把握する。その上で、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言、講座やおはなし会の開催などの支援を行う。 また、団体貸出登録団体と公民館を対象とした交流会を開催し、実用的講座の開催や意見交換の実施など、活動への支援を行う。 (平成27年4月から実施)	通 年

### (8) 各種図書館間協力ネットワークの構築

福岡都市圏図書館、県内公共図書館、大学図書館、専門図書館との相互協力ネットワークの推進を図る。

主な事業名	内 容	実施時期
福岡都市圏図書館等の広域利用	日常生活圏の広域化に伴い、福岡都市圏の図書館等は、図書の貸出対象の居住者要件を、当該市町村居住者から福岡都市圏全体の居住者に拡大しており、制度を継続する。 (平成13年4月から実施)	通 年
福岡県図書館協会の相互貸借	相互貸借の円滑化により図書館サービスの充実を図るため、福岡県内の公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館の4団体間で実施している相互貸借を継続する。 (平成18年11月から実施)	通 年
大学図書館とのネットワーク	大学図書館の資料を市民が利用できるようにするため、市内8大学と実施している相互貸借を継続する。 (平成13年3月から実施)	通 年

市関連施設の 図書室の相互協力	市関連施設の図書室の相互協力をし、利用者サービスの向上を図る。 市議会議員等の調査・研究を支援するため実施している議会図書室への図書資料の貸出を継続する。 (平成27年2月から実施)	通 年
--------------------	---	-----

### (9) 学校図書館支援センター

各小中学校が、学校図書館を効果的に運用できるように、学校図書館関係者を対象とし、「情報」「ひと」「もの」の3点から支援を行う。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
学校図書館支援 センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報・ひと・もの」による支援 情報： ホームページ等による情報提供など ひと： 学校図書館運営に関する相談業務、 計画及び要請訪問の実施など もの： 学習支援用図書の貸出、読書活動や 調べ学習に関する助言など</li> <li>・学校図書館支援センター利用の手引きを作成し、 教員・学校司書への利用勧奨を行う。</li> <li>・「小学生読書リーダー養成講座」 市内小学5・6年生を対象として講座を実施し、 受講した児童を「小学生読書リーダー」に認定 することにより、各学校での読書活動推進につ なげる。 (平成27年4月から実施、例年6月実施)</li> </ul>	通 年

### (10) 分館運営

分館では、生活に密着した情報、趣味、娯楽、読み物等の一般図書、児童図書を中心に資料を収集し、館内での閲覧や貸出を行うほか、おはなし会等の読書普及活動を行っている。

また、総合図書館と分館とのコンピューターネットワークにより資料情報を共有するとともに、資料の貸出や返却がどの図書館でもできるように、毎日連絡車を運行し、物流のネットワーク化を図っている。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
おはなし会	乳幼児から小学生を対象として絵本の読み聞かせや紙芝居などを行い、本への親しみと読書の楽しさを伝え、子どもが本とつながる機会を提供する。	毎週土曜日ほか

企画展示	各分館においてテーマを設定し、テーマに沿った図書の展示やブックリストの配布などを行う。 なお、10月は図書館マンスとし、全館統一テーマを定め、各館・各部門において、サブテーマを設定し、図書の展示等を行う。	毎 月
------	---	-----



## 2 文書資料部門

### (1) 公文書等

#### ① 公文書

完結後30年を経過した永年保存文書及び保存期間が満了した文書で歴史的文化的価値があるものを収集、整理、保存、閲覧に供する。

また、完結後20年を経過した永年保存文書で、保管の委託が適当であるものについては、受託する。

- ア 収 集 福岡市の各公文書規程に基づき行う。
- イ 整理・保存 資料保存のための燻蒸処理を行い、件名整理及び閲覧制限項目のチェック完了後、検索用目録の作成とマイクロフィルム撮影を行う。
- ウ 閲 覧 完結後30年を経過した公文書を、文書資料室において原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。  
資料の館外貸出は本市職員に限り許可する。
- エ 展 示 歴史的公文書の展示を行い、市民の公文書への関心を高める。

主な事業名	内 容	実施時期
公文書資料目録の作成	平成29年度までに収集・整理した公文書資料の簿冊及び件名目録を検索用として作成するとともに、PDFファイルにてホームページに掲載する。	2020年3月
歴史的公文書の展示	市の歴史的公文書の整理保存を行っていることの市民への周知を図るとともに、利用の促進を図るため、展示を行う。	2019年6月
歴史的公文書のデジタルデータ化・情報提供の充実	収集・整理・保存した歴史的公文書等について、一部をデジタルデータ化するとともに、インターネットで情報提供するシステムの構築（文学情報提供システムの拡張）について検討する。	通 年

#### ② 行政資料

主に本市各部局が発行する刊行物等を収集、整理・保存し、文書資料室に配架して閲覧に供する。

また、本市各部局で作成したビデオテープやDVDの閲覧提供を行う。

## (2) 古文書資料

古代、中世、近世及び近現代の郷土福岡に関する歴史資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収 集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 燻蒸処理し、収集資料群毎の詳細調査・整理及び資料の補修等を行い、マイクロフィルム撮影をして、検索用目録を作成する。
- ③ 閲 覧 原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
古文書学講座	古代・中世・近世・近代の古文書学の基礎を学ぶ講座	2019年9月 (全4回)
古文書資料目録25の発行	平成30年度までに収集した古文書資料の検索用目録を作成する。	2020年3月
古文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	収集・整理した資料の一部をデジタルデータ化するとともに、インターネットで情報提供するシステムの構築（文学情報提供システムの拡張）について検討する。	通 年

## (3) 郷土資料

近世までは筑前国、近代以降は福岡市を中心とする福岡県内の各分野の資料、及び九州・山口各県の地方史誌等を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収 集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。  
貴重な資料についてはマイクロフィルム撮影をして、閲覧用の複製本を作成する。
- ③ 閲 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。  
貴重資料については、マイクロフィルム又は複製本により閲覧に供する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
郷土・特別資料室内展示	郷土福岡に関する展示を実施	通 年

#### (4) 文学資料

福岡ゆかりの作家等に関する文学資料を収集，整理・保存し，閲覧に供するとともに，実行委員会による文学振興事業等を実施する。

##### ① 資料

- ア 収 集 購入，寄贈等による。
- イ 整理・保存 図書等の収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。
- ウ 閲 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。  
貴重資料は，事前申請により職員立会のもと一部公開。

##### ② 文学館事業の実施

福岡ゆかりの文学に関する企画展・文学講座等の事業を実施し，市民の文学に関する生涯学習活動を支援する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
常設展示	総合図書館1階ギャラリーで福岡ゆかりの文学者や文学作品，福岡での様々な文学活動を紹介する。	通 年 (企画展期間中を除く)
企画展	特に企画展では，文学振興事業実行委員会において企画展図録を作成し，販売。	2019年 11月～12月頃 (年1回)
読書講座	九州ゆかりの文学をテキストにし，講師と受講者で作品についての意見交換をする。	2019年11月～ 2020年3月頃 (全3回)
文学講座	福岡ゆかりの文学者等による卓話会，講演等	5, 7, 9, 11, 2月
文学館倶楽部	福岡市文学館の館報として発行（無料配付）	2019年10月 2020年 3月 (年2回)
インターネットによる情報提供システムの構築	インターネットにより福岡ゆかりの文学に関する情報を画像を含めて体系的に分かりやすく提供する。	2019年11月頃～

#### (5) レファレンス業務

郷土・特別資料室及び文書資料室（総合図書館2階）において，各資料に関するレファレンスを行う。

#### (6) 委員会等

- ① 福岡市総合図書館文書資料収集審査委員会  
所管する文書資料収集の適正化を図るため，8名の委員により本年度1回開催予定。
- ② 福岡市文学館資料委員会  
福岡市文学館資料の充実と有効活用を図るため，8名の委員により本年度2回開催予定。
- ③ 福岡市文学振興事業実行委員会  
文学振興事業の企画と円滑な実施運営を図るため，6名の委員により本年度3回開催予定。

### 3 映像資料部門

#### (1) 映像資料の収集・保存

主な事業名	内 容	実施時期
映像資料収集事業	(1) アジアフォーカス福岡国際映画祭参加作品 (2) 福岡に関する映画作品 (3) CD, DVD (4) その他映画関係資料	通 年

#### (2) 映像資料の調査・研究

国立映画アーカイブをはじめとする国内外の機関・施設と連携し、映画フィルムの収集、保存等について調査・研究を行う。

#### (3) 映像資料の公開及び展示等

- ① 映像ホール・シネラ(定員 246 席)で上映する。
- ② ミニシアター(定員 50 席)で上映する。
- ③ 映像資料の展示(ポスター展の開催など)を行う。

#### (4) ビデオライブラリーの運営等

映像資料(ビデオテープ・DVD)と音声資料(CD・カセットブック)の館外貸出を行う。

#### (5) 映像ホール・シネラの運営等

主に総合図書館と映像ホール・シネラ実行委員会等の共催で実施している。

図書館が収蔵している映画の上映や特別企画展・講演会等を実施することにより、市民の映画やアジアに関する理解が深まることを支援する。

主な事業名	内 容	実施時期
通常上映	図書館が収蔵しているアジア映画等を上映する。	通 年
特別企画事業	アジア映画祭事業 近年話題のアジア映画を上映する。	未 定 (年1回)
	映像創造事業 新しい才能の発見と育成がテーマの映画祭「ぴあフィルムフェスティバル」の入選作を上映する。	2019年4月頃
	芸術性・創造性の高い映像作品を集めて上映する「シネラ映像祭」の開催。	2019年6月頃

特別企画事業	シネマテーク事業	日頃福岡で上映されない映画を積極的に取り上げ、俳優・監督などをテーマに特集を組み、多様な映画を紹介する。 5月は、戦後日本を代表する監督・増村保造氏の特集。	通 年
	講演会等	上映する映画に関する講演会等を開催する。	年 数 回

※6月以降の上映事業については、4月開催のシネラ実行委員会で決定。

#### (6) 委員会等

##### ① 福岡市総合図書館映像資料収集委員会

映像資料の収集・保存に関し、収集に必要な事項を審議するため、8名の委員により本年度1回開催予定。

##### ② 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会

福岡市総合図書館映像ホール・シネラでの上映会等を開催し、その運営を円滑に行うため、10名の委員により本年度1回開催予定。また上映作品の詳細や広報活動を検討する8名の委員によるプログラム部会を年2回開催。

#### (7) 図書館外施設での映像資料上映事業

主な事業名	内 容	実施時期
図書館外映像資料上映事業	総合図書館が収蔵している様々な映像資料を、図書館以外の市の施設で上映し、映像資料の有効活用及び映像保存活動のアピールを行う。	未 定

## 4 図書館全体事業

### (1) 新ビジョンの推進

項目	内容	実施時期
新ビジョンの推進	① 新ビジョン事業計画（H26～H30）の，平成 30 年度の取組についての点検評価を行う。 ② 新ビジョン事業計画（H31～H35）の推進。	2019年8月頃に評価予定

### (2) 分館整備事業

項目	内容	実施時期
新たな分館の整備 （早良区）	早良南地域交流センターの整備にあわせ，図書館分館整備を推進していく。 （2021年11月頃供用開始予定）	2019年度中に運営方針決定

### (3) 指定管理者の管理運営業務に係るモニタリング

項目	内容	実施時期
年次評価 （総合図書館）	総合図書館（建物管理等）における指定管理者の平成 30 年度管理運営業務について評価を行う。	2019年7月頃に評価予定
年次評価 （東図書館）	東図書館（選書を除く）における指定管理者の平成 30 年度管理運営業務について評価を行う。	2019年7月頃に評価予定

### (4) 図書館業務システム

項目	内容	実施時期
図書館業務システムの更新	機能の改善や拡張，処理能力向上に向けて，図書館業務システムの更新を行う。	2019年6月更新予定

\*業務システム入替等のため2019年6月24日（月）～7月1日（月）は，全館一斉休館及びインターネット予約システム停止予定。

### (5) 施設設備の更新

項目	内容	実施時期
総合図書館の施設設備等更新	総合図書館施設について，ダウンライト機器やパッケージエアコン，電話設備工事等の更新工事を行う。	2019年度中 （時期未定）

### (6) やすらぎと交流の場づくり

項目	内容	実施時期
指定管理者企画事業 （総合図書館）	エントランスホールや正面玄関前広場等を活用し，節句祭，納涼祭，冬フェスタ等の季節イベントや，講座・教室等を実施する。	通 年

(7) 見学・視察の受け入れ

項目	内容	実施時期
見学・視察の受入	小学校、中学校、高校、各種学校の他、自治体、図書館関連機関等からの要請に対し、受入を行う。	通 年
バックヤードツアー	一般および親子を対象とした図書館の裏側を紹介するツアーを実施する。各回 15 名×10 回	2019年11月～ 2020年3月

(8) 市民との共働

項目	内容	実施時期
図書館ボランティア	市民活動の場を提供するためボランティアの募集・受入を行う。	2019 年 4 月に 説明会を実施
インターンシップ	大学等からの要請に対し、インターンシップの受入を行う。	夏～秋

(9) 職員研修

項目	内容	実施時期
基礎研修	図書館各部門に共通する基本的な知識、ビジネスマナーや接遇、コンプライアンスなどの基礎知識についての研修を実施する。	年 6 回程度
専門研修	図書館職員として必要な専門知識や技術向上を目指した研修を実施する。	各部門で実施

(10) 危機管理対策

項目	内容	実施時期
防災基礎研修	防災対策及び消防設備等の基礎知識についての研修を実施する。	2019 年 6 月頃 (休館日実施)
災害時避難訓練	火事・地震を想定した避難誘導訓練と消火器及び屋内消火栓の実地訓練を行う。 また、消防局による A E D 操作訓練を行う。	2020 年 1 月頃 (休館日実施)

(11) 財源確保に係る事業

項目	内容	実施時期
駐車場の有料化	休館日や閉館時間帯に駐車場を有料開放するなどして、財源確保を図る。	通 年
ふくおか応援寄付	「ふくおか応援寄付」制度による寄付金により、財源確保を図る。	通 年
新たな財源確保	デジタルサイネージや施設広告などの新たな財源確保を図る。	通 年

## 5 広報活動

福岡市総合図書館を広く市民に利用してもらうため、各種媒体による広報を行う。

媒体名	内容	発行回	配布先／発行数
図書館要覧	他図書館、行政機関への当館の事業報告を目的とし、図書館各部門や分館の利用状況、事業実績、組織・予算などを掲載。	年1回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／350部
福岡市総合図書館ホームページ	情報提供を目的とし、利用案内、各種お知らせ、映像資料案内、図書館資料検索などの項目を設けている。	随時更新	
メールマガジン	イベント情報や各部門からのお知らせなどについてメールマガジンを配信。	月1回	メールマガジン登録者
各種ソーシャルメディア (Twitter や Facebook 等)	Twitter や Facebook 等のソーシャルメディアを活用し、新着情報やイベント情報などを配信。	随時配信	SNS登録者
こどもとしょかんニュース	こども図書館の利用拡大、読書普及を目的とし、おはなし会やテーマ別本展示のお知らせ、新刊本紹介を掲載。	年6回	福岡市関係施設・機関、市内の保育所、幼稚園、小学校等／各1,400部
ヤングアダルトブックリスト	中学生・高校生を対象として、読書普及及び図書館の利用拡大を目的に、お薦めの本を紹介する。	不定期	総合図書館等／600部
レファレンスだより	レファレンスサービスをアピールすることを目的に、レファレンス事例を主題別、部門毎に紹介している。また、夏休みは小中高生を対象にした特集号を別途発行している。	年12回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／300部
クンドルニュース	九州国連寄託図書館における国連資料の利用者拡大を目的に、国連資料などを紹介している。	年6回	福岡市の施設・機関、福岡県内公共図書館等／700部
シネラニュース	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載。	年11回	福岡市の施設・機関、マスコミ、定期購読者等／8,000部
ホームページ「うえぶシネラ」	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載。また、メールマガジンも配信。	月1回	
市政だより	図書館事業の市民への告知を目的とし、シネラ上映案内、おはなし会・講演会などを掲載。	月2回	福岡市内全世帯



## 6 研究活動

図書館において調査・研究を行い，その成果を報告するため，研究紀要を発行する。

媒体名	内 容	発行回	配布先／発行数
研究紀要	収蔵資料に関する学術的な調査・研究の成果を報告することを目的に，図書館職員による研究論文，資料紹介，展示報告等を掲載する。	年1回	各県の主な公共図書館，文学館，文書館，歴史資料館等／500部

平成31年度予算及び機構について

報告

1 平成31年度予算

(単位:千円)

歳出	歳入内訳		
	特定財源		一般財源
	地方債	その他	
1,609,909	135,000	69,799	1,405,110

歳出内訳

事 項	平成31年度	平成30年度	増減	参考 平成29年度(決算)
<b>1 給与費等</b>	<b>279,224</b>	<b>289,673</b>	<b>△ 10,449</b>	292,587
<b>2 管理運営費</b>	<b>768,579</b>	<b>715,278</b>	<b>53,301</b>	779,020
一般管理費	157,464	101,449	56,015	155,529
施設管理費	250,091	251,620	△ 1,529	257,865
分館運営費	347,255	346,433	822	347,424
映像機器の更新	2,679	2,880	△ 201	3,596
学校図書館支援センター運営費	11,090	12,896	△ 1,806	14,606
<b>3 主催事業費</b>	<b>1,631</b>	<b>2,633</b>	<b>△ 1,002</b>	3,113
講座等経費	736	817	△ 81	1,983
映像企画事業等経費	778	864	△ 86	770
図書館外施設でのアジア映画上映	117	288	△ 171	360
図書館地区別研修	0	664	△ 664	0
<b>4 資料収集経費</b>	<b>186,551</b>	<b>163,952</b>	<b>22,599</b>	135,915
図書購入費	114,761	99,661	15,100	69,242
映像資料購入費	1,448	1,600	△ 152	1,977
図書整理費	31,553	22,445	9,108	23,970
文書資料整理等経費	28,411	29,482	△ 1,071	30,455
映像資料収集保存等経費	10,378	10,764	△ 386	10,271
<b>5 図書利用サービス費</b>	<b>165,724</b>	<b>163,233</b>	<b>2,491</b>	166,270
一般利用サービス費	158,241	160,579	△ 2,338	163,970
団体貸出運営費	7,483	2,654	4,829	2,154
こども図書館運営費	0	126	△ 126	146
<b>6 国連寄託図書館経費</b>	<b>4,557</b>	<b>4,507</b>	<b>50</b>	4,346
国連寄託図書館運営費	4,557	4,507	50	4,346
<b>7 文学館費</b>	<b>13,566</b>	<b>12,565</b>	<b>1,001</b>	12,249
文学館管理運営費	11,871	10,270	1,601	9,775
文学館事業費	1,695	2,295	△ 600	2,474
<b>8 施設整備費</b>	<b>190,077</b>	<b>280,787</b>	<b>△ 90,710</b>	31,255
総合図書館施設整備費	190,077	280,787	△ 90,710	31,255
合 計	1,609,909	1,632,628	△ 22,719	1,424,755



# 福岡市総合図書館新ビジョンの推進について

総合図書館新ビジョン(2014年度～2023年度)		前期事業計画(2014年度～2018年度)		後期事業計画(2019年度～2023年度)
4つの図書館像	図書館像実現のための基本方針	具体的な事業	成果	具体的な取り組み(★:新規, ●:拡充, ◎見直し)
<b>誰もが楽しめる魅力ある図書館</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが利用できる図書館サービス</li> <li>魅力ある図書館づくり</li> </ul>	<b>図書資料の貸出・返却拠点の新設</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早良南地域交流センター内分館の整備決定</li> <li>★貸出・返却拠点を4か所新設(科学館, 木の葉モール橋本, ふくふくプラザ, 九州がんセンター)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年開館予定の早良南地域交流センター内図書館分館の開館準備</li> <li>●交通の便の良い公共施設等に新たな図書の貸出・返却拠点の設置を検討(2025年度までに3拠点増)</li> </ul>
		<b>利用時間の見直し</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★総合図書館の開館時間を10時～20時に拡大(1時間延長)</li> <li>★東図書館の開館時間を9時～20時に拡大するとともに, 休館日を月1回に拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき休館日及び開館時間を見直し(2019年度中に早良南図書館(仮称)の開館時間等を決定)</li> </ul>
		<b>図書館イベントの充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★従来の子ども向けおはなし会に加え, 大人向け読書イベントを開催, 充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎図書館マンスなどで総合図書館の3部門と分館と連携したイベントの開催や幅広い年齢層に向けたイベントを充実させるとともに, 市関連部署と連携したイベントを企画・実施</li> </ul>
		<b>快適な空間づくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合図書館に語らいの広場を新設</li> <li>エントランスホールを使った季節に応じた市民参加型イベントを開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者が過ごしやすい環境の創出など大幅な館内レイアウトを検討</li> <li>★総合図書館の設備更新を計画的に実施</li> </ul>
<b>さまざまな情報を求める市民に伝える図書館</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料・情報の幅広い収集・保存</li> <li>レファレンスサービスの充実・強化</li> <li>ネットワーク機能の充実</li> <li>情報化の進展に対応したサービスの向上</li> </ul>	<b>図書館サービスの充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館ごとに特色をもった資料収集方針を策定し, 館ごとの特徴づけを実施</li> <li>電子メールによるレファレンスサービスを開始</li> <li>起業・経営, 医療, 子育て支援等の事業を実施</li> <li>総合図書館に公衆無線LAN環境を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書資料の収集方針に沿った資料収集を行うとともに, その資料を幅広く活用できる方策を検討</li> <li>電子書籍の貸出サービスの継続検討</li> <li>ビジネスや医療, 子育て支援などの地域の課題解決支援のための情報提供</li> </ul>
		<b>地域読書活動への支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★団体貸出登録数及び活動の増加</li> <li>地域の読書活動ボランティアの育成促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館や留守家庭子ども会, 高齢者施設等への団体貸出登録を促進</li> <li>地域の読書活動ボランティア団体の育成支援</li> </ul>
		<b>市関連施設の図書室の相互協力</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会図書室との連携実施</li> <li>ふくふくプラザ, 科学館との連携開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書室を有する市施設との相互協力を実施</li> </ul>
<b>子どもと本をつなぐ図書館</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「福岡市子ども読書活動推進計画」の推進</li> <li>学校図書館との連携</li> </ul>	<b>子どもへの読書普及</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル児童図書リストを毎年発行して配布</li> <li>中, 高校生向けのイベントを試行実施</li> <li>地域の読書活動ボランティアの育成支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中, 高校生を対象とした図書館イベント等の企画, 実施</li> <li>小, 中学生の図書館見学や参加型イベント実施時にあわせて図書館利用者登録の推奨</li> <li>地域の読み聞かせボランティア等の育成講座の推進</li> </ul>
		<b>学校図書館への支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★全市立小, 中学校へ訪問し, 支援センター事業の周知を図り, 特に小学校からの相談や支援が拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★「学校図書館支援センター利用の手引き」を作成し, 教員・学校司書への利用勧奨を推進</li> <li>引き続き, 学校図書館の人的・物的支援を推進</li> </ul>
<b>総合図書館の特色を生かした図書館</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像資料の公開機能の充実</li> <li>公文書資料の有効活用</li> <li>福岡の歴史に関わる古文書資料・郷土資料の後世への伝承</li> <li>市民に認知される福岡市文学館の環境整備</li> </ul>	<b>映像資料部門の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民センター等でアジア映画上映を実施し, 図書館の活動を周知</li> <li>アジア映画上映作品にあわせたポスター展示を行い, 映像文化の普及・振興等を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎図書館所蔵映画フィルム等を活用し, 図書館の映像保存事業を効果的にアピール</li> <li>図書館で所蔵する映画ポスター等の資料を活用した企画展示の実施</li> </ul>
		<b>文書資料部門の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的公文書, 古文書資料, 郷土資料のデジタル化を推進</li> <li>歴史的公文書等の展示により公文書館機能の理解促進</li> <li>メディアを活用した広報による文学館の認知向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公文書や古文書資料, 郷土資料のデジタル化, インターネットによる情報提供の推進</li> <li>★インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを構築</li> </ul>
<b>4つの図書館像の実現を図るための効果的な図書館運営</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営方法の検討</li> <li>施設の有効活用やの支援の受け入れなどによる自主財源の確保</li> <li>職員の専門知識や技術の向上を目指す研修体制の確立</li> <li>効果的な手法による積極的な情報発信</li> </ul>	<b>図書館運営の強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合図書館の施設管理及び東図書館の運営に指定管理者制度を導入</li> <li>総合図書館駐車場を図書館利用者利用者以外に有料開放し財源を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●早良南図書館(仮称)の運営方法の検討</li> <li>施設の有効活用やふるさと納税制度記念品の充実(銘板提示など)等による財源確保の推進</li> <li>★図書館オリジナルのノベルティグッズの製作・販売</li> </ul>
		<b>情報発信の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPをリニューアルし, 見やすさ使いやすさを改善</li> <li>フェイスブックやツイッター, LINEなどSNSを活用した情報発信開始</li> <li>月1回のメールマガジン配信開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★市関連イベントでの図書館PR(図書館イベントの広報など)</li> </ul>

福岡市総合図書館新ビジョン  
事業計画及び成果指標

(2019年度～2023年度)

案

福岡市教育委員会

## 1 趣旨

平成8年6月の福岡市総合図書館開館以来、少子高齢化や高度情報化、国際化の進展など、社会状況が大きく変化しています。このような状況の中で、市民ニーズの高度化、多様化という新たな環境変化に対応していくため、今求められる図書館の役割を踏まえ、これから目指すべき図書館像を定める「福岡市総合図書館新ビジョン」を平成26年6月に策定しました。

この「福岡市総合図書館新ビジョン」は平成26年度を始期とする10年間を計画期間としており、新ビジョン推進のため、重点的に取り組む具体的な施策・事業について5年ごとにその事業計画を作成し、成果指標を定めて計画的に事業を実施していくものです。

## 2 事業計画の枠組み

### (1) 計画の期間

#### ①前期事業計画

計画の期間は、2014年度（平成26年度）から2018年度（平成30年度）までの5年間とします。

#### ②後期事業計画

計画の期間は、2019年度（平成31年度）から2023年度までの5年間とします。

### (2) 計画の構成

事業計画は、「福岡市総合図書館新ビジョン」で掲げる「目指す図書館像」に沿った項目ごとに整理し、それぞれの内容と成果指標、スケジュールから構成されています。

## 3 進行管理と評価

新ビジョンを着実に推進していくために、年度ごとに図書館サービスや業務についての評価を行い、進行管理を行っていきます。

そのため、年度ごとに図書館サービスや業務について、アンケートを実施しながら、内部評価を行います。さらに、内部評価について意見を聴くため、「福岡市図書館評価委員会」を設置して、市民や有識者の視点を取り入れた外部評価を行い、結果を公表します。その評価内容に応じて、図書館サービスの改善を図っていきます。

### (1) 内部評価

毎年4月 アンケートの実施

6月 アンケートの結果や成果指標などに基づく内部評価

### (2) 外部評価

毎年7月 福岡市図書館評価委員会による外部評価及びその公表  
評価内容に応じた改善

## 4 前期事業計画の振り返り

福岡市総合図書館では、「福岡市総合図書館新ビジョン」に掲げる「目指す図書館像」を達成するため、前期事業計画に基づき施策・事業を推進してまいりました。その結果、潤いややすらぎの場の創出や一部の図書館ではありますが開館時間の延長、また、地域読書活動への支援を目的とした団体貸出制度の拡充など一定の成果を得られました。

一方では、急速なIoT化の発展や市民意識の変化、社会情勢の変化等で図書館利用者が年々減少傾向であり、改めて図書館に求められる役割と機能を考えていく必要があります。

### (1) 前期事業計画の成果

#### ① 学校図書館支援センターの立ち上げ

各学校が学校図書館を効果的に運用できるよう、総合図書館内に学校図書館支援センターを開設し、支援を開始

#### ② 団体貸出制度の拡充

地域文庫や学校、高齢者施設等への団体貸出サービスを充実

344 団体(2013 年度) → 390 団体(2018 年度)

#### ③ 図書館利用時間の拡大

総合図書館及び東図書館において開館時間の延長を実施

(東図書館においては休館日も見直し)

#### ④ 貸出・返却拠点の新設(4 拠点)

貸出・返却拠点：福岡市科学館

返却拠点：木の葉モール橋本、ふくふくプラザ、九州がんセンター

#### ⑤ 図書館イベントの充実

子ども向けのイベント(おはなし会など)に加え、大人向けイベント(各種講演会・講座等)、アジア映画の館外上映などを実施

(2) 福岡市図書館を取り巻く現状

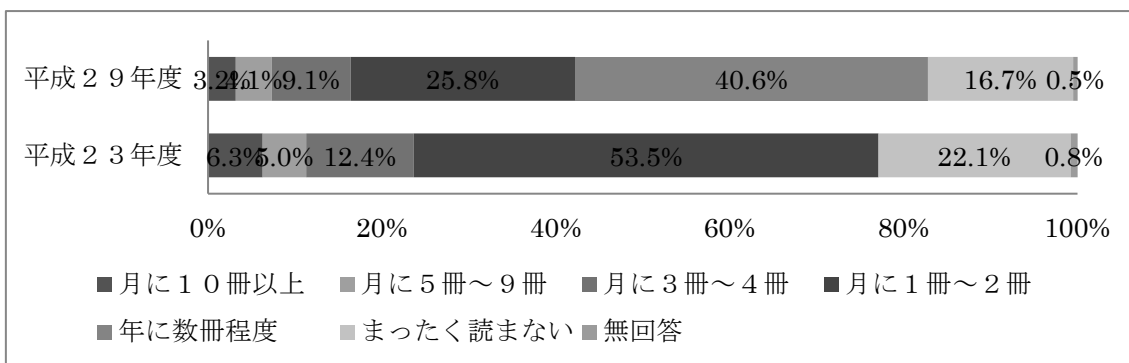
①市民の読書への考え方の変化

ア 本が読みたくなった時の行動

(平成23年度, 平成29年度 市政アンケートより)

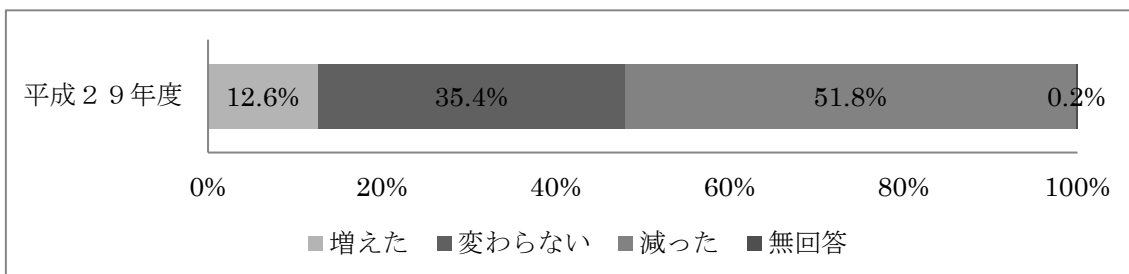
項目	平成23年度	平成29年度
書店(コンビニ購入を含む)で購入する	72.5%	61.6%
公立図書館を利用する	17.0%	13.7%
通信販売で購入する	3.8%	9.3%
職場, 学校の図書室やブックカフェを利用する	1.5%	1.8%
電子書籍等を購入する	0.2%	3.6%
その他	4.0%	4.5%
無回答	1.0%	5.7%

イ 1カ月当たりの平均読書量



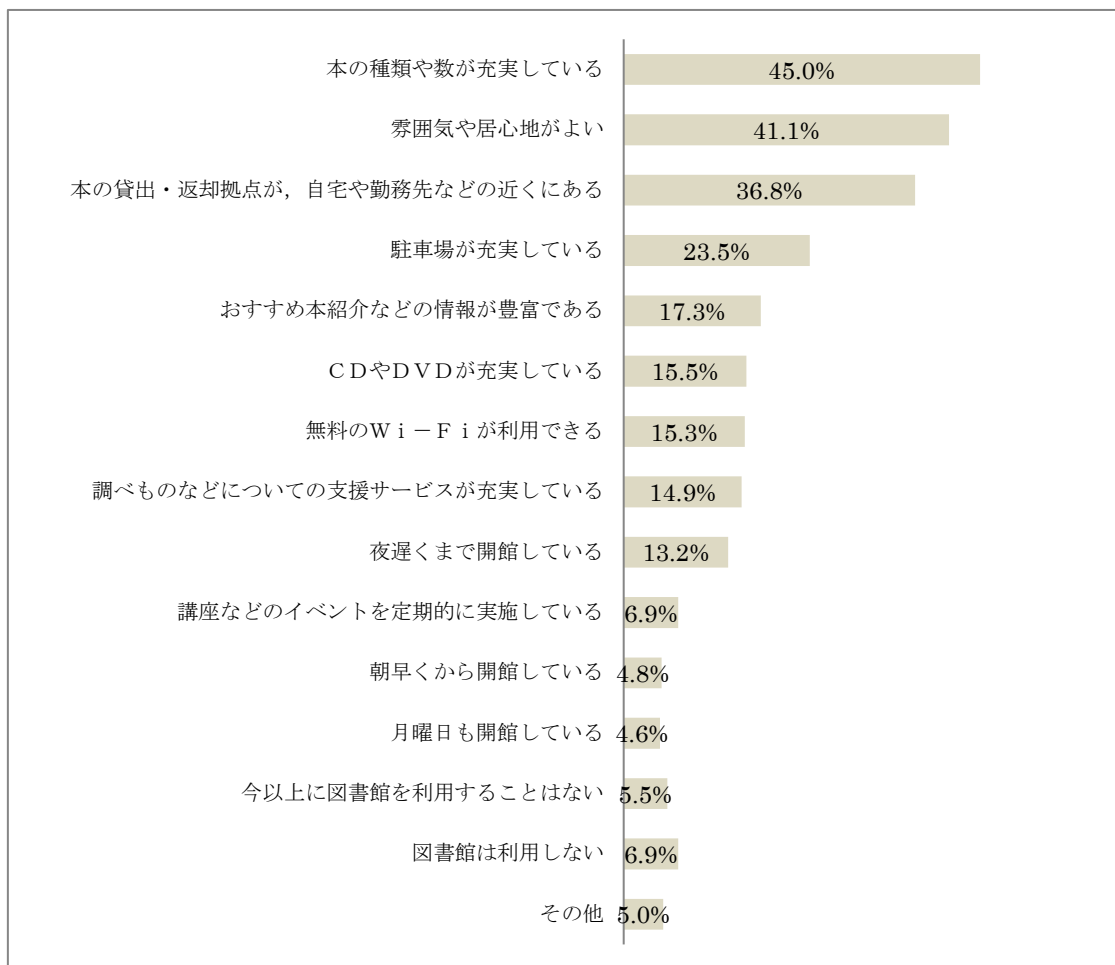
ウ 5～6年前と比較した1日の読書時間

(平成29年度 市政アンケートより)

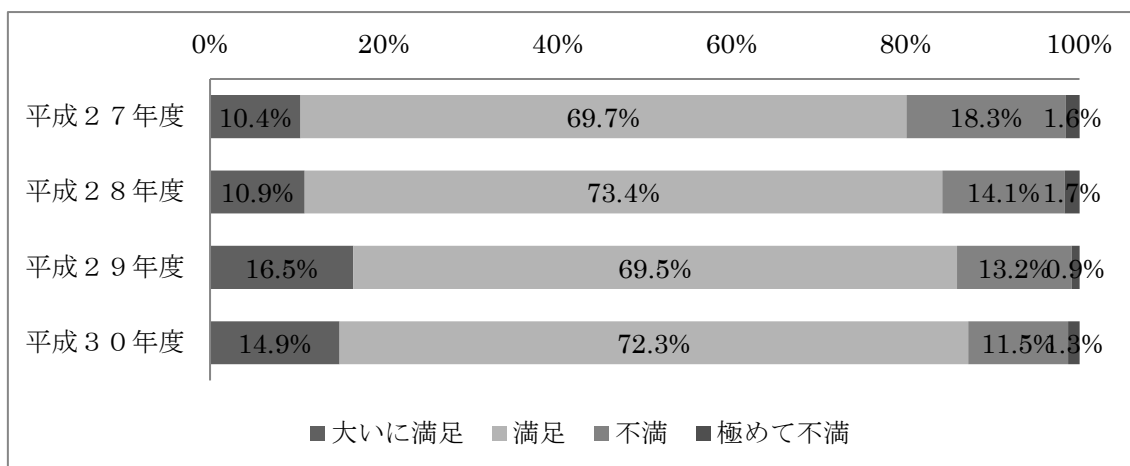




エ 図書館をいま以上に利用するための条件  
(平成 29 年度 市政アンケートより)



オ 図書館利用者の開館時間及び休館日における満足度  
(平成 27～30 年度 図書館利用者アンケートより)



## ②図書館利用者の減少

○個人貸出冊数 4,378 千冊(2014 年度) → 4,167 千冊(2017 年度)

○貸出利用者数 1,227 千人(2014 年度) → 1,211 千人(2017 年度)

※福岡県全体においても個人貸出冊数は減少傾向である。

・個人貸出冊数(県内図書館の総数)

24,448 千冊(2014 年度) → 23,705 千冊(2017 年度)

## 5 後期事業計画への取り組みの姿勢

福岡市総合図書館新ビジョンの推進については、実現へ向けた取り組みとして、2014 年度から 2018 年度までを前期として、また、2019 年度から 2023 年度までを後期として位置付け、それぞれ事業計画を策定することとしています。

今回、後期事業計画を策定するにあたり、前期事業計画で取り組みが十分でなかった項目を中心に見直しを行っており、これらの様々な施策、事業の実施につながるよう、計画的な推進に取り組んでまいります。

また、学校教育及び生涯学習における読書活動推進の観点を踏まえ、図書館行政の改革に取り組んでまいります

## 福岡市総合図書館新ビジョン 基本理念

市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる  
新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館

内容

利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。

## 成 果 指 標

図書館利用者における図書館サービスの満足度

【2013年度】75.5% → 【2018年度】85% → 【2023年度】90%

### 【2013年度 実績】

- ・貸出利用者数 1, 291 千人
- ・個人貸出冊数 4, 633 千冊
- ・入館者数 ー 千人
- ・新規登録者数 30 千人



### 【2018年度 見込】

- ・貸出利用者数 1, 205 千人
- ・個人貸出冊数 4, 046 千冊
- ・入館者数 3, 090 千人
- ・新規登録者数 24 千人

### 【2023年度 目標】

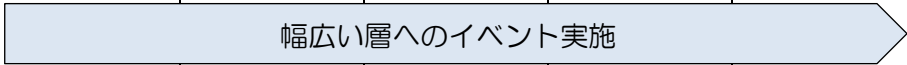
- ・貸出利用者数 1, 400 千人
- ・個人貸出冊数 4, 800 千冊
- ・入館者数 3, 500 千人
- ・新規登録者数 30 千人

※「入館者数」については、2013年度の当初から計測に誤りがあったこと、また、その他の項目についても近年の図書館の利用状況に鑑み、2018年度の見込をもとに2023年度の数値目標を新たに設定しております。

## (1) 誰もが楽しめる魅力ある図書館

		部門	運営・図書		
項目	内容				
図書資料の貸出・返却 拠点の新設	① 分館の新設 ・早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。				
	② 貸出・返却拠点等の新設 ・利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	貸出拠点数	13地点	13地点	15地点	
	返却拠点数	21地点	24地点	27地点	
○前期の振り返り					
① 分館の新設 早良南地域交流センターについて、整備事業の実施方針及び要求水準書を2017年12月に公表し、2018年4月にPFI事業者の公募を開始、2018年11月に事業者が決定した。					
② 貸出・返却拠点等の新設 2013年から返却拠点3地点（木の葉モール橋本、ふくふくプラザ、九州がんセンター）を新設した。また、少年科学文化会館の貸出・返却拠点を同館の閉館に伴い2016年に廃止したが、2017年開館の福岡市科学館に新たに拠点を設置した。					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
分館 (早良南)	開館準備			◇開館	
貸出・返却 拠点	検討、協議				
			◇設置		
※市の施設や地下鉄駅、民間施設・店舗などへの拠点設置の可能性を検討する。					

		部門	運営・図書・文書・映像		
項目	内容				
利用時間の見直し (休館日、開館時間の 見直し)	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。				
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合図書館は、2016年4月より開館時間を延長した。</li> <li>・東図書館は、移転開館した2016年6月より開館日・開館時間の拡大を実施した。</li> </ul>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
休館日	検討	段階的に実施			
開館時間	検討	段階的に実施			

		部門	運営・図書		
項目	内容				
図書館イベントの充実	<p>子ども向けのおはなし会や体験講座，大人向けの講座など，幅広い層に向けて多様なイベントを実施し，これまで図書館を利用していなかった層への訴求や，参加者の満足度の向上を目指し，引き続き，読書の普及や図書館の活用促進を図ります。</p> <p>また，市の関連部署と連携したイベント，総合図書館の映像資料部門や文書資料部門，各分館との連携による企画を実施していきます。</p>				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	イベント回数 (総合・分館)	809回 /年	1,033回 /年	1,150回 /年	
	参加者数	48,671人 /年	52,224人 /年	55,000人 /年	
※2018年度見込みは2017年度の実績値を仮記入					
○前期の振り返り					
<p>総合図書館においては，従前から開催していた子ども向けおはなし会や講座，読書活動ボランティア講座に加え，新たに大人向け読書イベントとして，がんについての講演や教養講座，本の修理講座などの各種講演会・講座や読書会などを実施した。</p> <p>また，分館においては，地域の特色を生かしたテーマや独自の観点による多様なイベントを実施した。</p>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
イベント					
<p>(例) 図書館を舞台にした撮影会・写真コンテスト  SNS を活用したイベント周知  出前講座形式での図書館イベント実施  作家や文化人による講演会開催  自動貸出機やOPACなどの使用法を案内する図書館 Q&amp;A 講座の開催  幅広い層を対象とした夜のおはなし会の実施  小(高学年)中高生向けの図書館司書体験  総合の各部門・分館合同でのイベント など</p>					

		部門	運営・図書・文書・映像		
項目	内容				
快適な空間づくり	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館（6 カ月程度）にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>				
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合図書館において、エントランスホールを活用した語らいの広場を設置するとともに、指定管理者による季節に応じたイベントを開催した。</li> <li>・2017 年度に長期保全計画を作成し、施設の保全・更新を優先して実施している。</li> </ul>					
○スケジュール					
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
レイアウト 変更					

(2) さまざまな情報を求める市民に応える図書館

	部門	運営・図書						
項目	内容							
図書館サービスの充実	<p>① 資料収集の充実</p> <p>公共図書館としての役割を発揮するため、前期で見直しした図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。</p> <p>また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。</p> <p>さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。</p> <p>② レファレンス（相談）サービスの充実</p> <p>窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。</p> <p>③ 課題解決型支援の充実</p> <p>ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行っていきます。</p> <table border="1" data-bbox="560 1115 1249 1205"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施事業</td> <td>6件/年</td> <td>12件/年</td> </tr> </tbody> </table>			2018年度	2023年度	実施事業	6件/年	12件/年
	2018年度	2023年度						
実施事業	6件/年	12件/年						
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子書籍に関しては、図書館での利用が認められているジャンルやタイトルが極めて限定的であるため、現時点での導入は見送っている。</li> <li>前期において、総合図書館収集方針を改定するとともに、各分館で地域の実情に合わせ特色を持たせた収集方針を策定し、選書等を行った。</li> <li>電子メールによるレファレンスを2016年度から開始し、徐々に件数が増加している。</li> <li>福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報の複写サービスを開始した。</li> <li>起業・経営、医療、子育て支援などの事業を着実に実施できた。</li> <li>無線LAN環境の整備については、2014年度に総合図書館、2016年度に東図書館へ公衆無線LAN「Fukuoka City Wi-Fi」が導入されたが、他の分館については、各施設の管理者と導入を協議していく。</li> </ul>								



○スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
資料収集	資料収集方針に沿った資料収集				
レファレンス	レファレンスサービスの実施				
課題解決型支援	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供				

(例) ①大活字本等を所蔵館以外の館に一時的に配架する

柱, 壁, 本棚側面を活用した本の顔を見せる展示スペースの創出 など

②HPを一部改修し, 利用者の調べものを支援するレファレンスガイド(調べもの案内)の情報をネット上で提供する。

		部門	図書		
項目	内容				
地域読書活動への支援	①団体貸出先の拡大 地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。				
	②地域読書活動への支援 地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	登録団体数	344団体	390団体	420団体	
	配本冊数	236,455冊	220,000冊	244,000冊	
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> <li>登録団体数は増加を続けており、登録団体数については目標達成の見込みであるが、新規登録団体に小規模な団体が多いほか、配本能力の制約があり一部団体の配本周期を伸ばしたことから、配本冊数は頭打ちとなっている。</li> <li>団体貸出の主体である地域ボランティアを対象に地域文庫交流会を開催し、支援の拡大を図ることで、公民館の団体貸出が5団体増加した。</li> </ul>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
団体貸出					
地域読書活動への支援					
<p>※未登録の公民館や高齢者施設、病院などに制度周知を行い、貸出先の拡充を図る。</p> <p>※地域における講座等の開催を拡充していく。</p>					

		部門	図書		
項目	内容				
市関連施設の図書室の相互協力	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。				
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年度から、議会図書室を通じて、市議会議員及び行政職員への図書資料の貸出による支援を開始。</li> <li>平成 27 年度から、ふくふくプラザで図書資料の返却を開始（福祉図書・情報室窓口での返却受付、施設入口に返却ポスト設置）。</li> <li>平成 29 年度から、福岡市科学館のサイエンスナビにおいて、図書資料の貸出・返却を開始。また、同館の夏休み展示において、総合図書館に所蔵する科学関連の児童図書を一部展示。</li> </ul>					
○スケジュール					
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
市施設との相互協力					

### (3) 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館

		部門	図書		
項目	内容				
子どもへの読書普及	<p>①モデル児童図書リストの配布 子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。</p> <p>②子どもの貸出カード作成推進 図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。</p> <p>③ヤングアダルト層（12歳～18歳）への働きかけの強化 広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。</p> <p>④読書活動ボランティア講座の強化 読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。</p>				
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル児童図書に関して、作成期間やコストの観点から判型等を見直し、冊子形式の目録から毎年発行で幅広く配布可能なリスト形式に変更。多様な層への配布や当該図書の展示により、関連図書の貸出増加を図ることができた。</li> <li>新1年生への貸出カードの付与は個人情報保護の観点から実現に移せず。小学1年生を対象とした推薦図書リストの全員配布と併せて、貸出カード作成の案内文書を配布したが、成果は限定的であった。</li> <li>ヤングアダルト向けの推薦図書のブックリストを作成・配布し、読書普及を図った。また、ヤングアダルトイベント（ビブリオバトル、TRPG、ボードゲーム、）など新しい動きが出てきた。</li> <li>読書活動に関心のある市民向けにボランティア講座を実施するとともに、受講者に地域文庫マップを配布し地域で活動する団体の情報提供に努めた。</li> </ul>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
モデル児童 図書目録	各グレード				
	作成・配布				
子どもの 貸出カード	検討協議				
	実施				

ヤングアダ ルト層への 働きかけ	広報・イベント・資料収集の充実				
読書ボラン ティア講座	読み聞かせ講座の実施				
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施				

※子どもの貸出カードについて、さまざまな場面を捉えて作成を促す。

(例) 授業での図書館見学の際に学校と連携して事前登録・カード作成・交付を実施

※地域の読書活動を支える人材を育成し、生涯学習課と連携して活動に繋げていく方策を検討する。

(例) ヤングアダルト向けイベント時に、若い世代のボランティアを募集する。

		部門	図書		
項目	内容				
学校図書館への支援	①学校図書館支援センターの充実				
	<p>前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館への運営等に関する指導、助言</li> <li>・学校図書館の図書への選書や助言</li> <li>・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援</li> </ul>				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	学校図書館への配本数	0冊/年	3,200冊/年	4,500冊/年	
学校図書館への対応件数	0件/年	100件/年	120件/年		
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小・中学校全校へ訪問し、学校図書館を視察して運営や選書等について相談を受けるとともに、学校図書館支援センターの役割や支援方法などを説明。</li> <li>・小学校については周知が進み、支援用図書の貸し出しも大きく伸びているが、中学校については、わずかな伸びに留まっている。</li> <li>・特別支援学校については発達教育センターと連携してニーズを把握し、支援に繋げるべく情報収集を行った。</li> <li>・各校の訪問や相談対応を重ね、また制度周知が進むにつれ、特に小学校において設置直後に比べ学校現場の課題やニーズに即した助言や支援が実施できるようになり、活用件数が増加している。また、利用した学校司書や教員が継続して相談・利用するケースが増えている。</li> </ul>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
学校図書館支援センター	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援				
	学習支援図書の貸出				
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供				
<p>※学校図書館支援センター利用の手引きを作成し、引き続き教員・学校司書への利用勧奨を行っていく。</p> <p>※特別支援学校に対し、具体的支援を行っていく。</p>					

#### (4) 総合図書館の特色を生かした図書館

	部門	映像			
項 目	内 容				
映像資料部門の充実	<p>① 図書館外施設での映像資料上映事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。</li> </ul> <p>② 資料展示事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。</li> </ul>				
○前期の振り返り					
<p>① 図書館外施設でのアジア映画上映事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>博多、東、城南区市民センターで館外上映を実施。図書館のアジア映画収蔵を知らない観客への一定の広報効果はあったが、費用対効果の課題があった。</li> </ul> <p>② 資料展示事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター展示をシネラのアジア映画上映企画に連動し、1階ショーケースで年に1回～2回開催。</li> </ul>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
上映事業	手法検討	上映事業の実施			
展示事業	多様な資料の展示				
	展示エリアの検討	展示エリアの整備			

		部門	文書										
項目	内容												
文書資料部門の充実	<p>①文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実  文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。</p> <p>②文学館の利用拡大  市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。  また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2013年度</th> <th>2018年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td>5,901人</td> <td>1,044人</td> <td>2,100人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※企画展、文学講座、読書講座等参加者  ※2013年度は大河ドラマ「黒田官兵衛」に併せた企画展を実施</p>						2013年度	2018年度	2023年度	参加者	5,901人	1,044人	2,100人
	2013年度	2018年度	2023年度										
参加者	5,901人	1,044人	2,100人										
○前期の振り返り													
<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的公文書・行政資料については、デジタルデータ化した歴史的公文書等の展示により公文書館機能の理解促進を図ることができた。  歴史的公文書システムの構築については、総務企画局における文書管理システムの更新に併せて検討することとしていたが、更新の予定がないため後期計画から除外する。</li> <li>古文書資料・郷土資料については、デジタルデータ化に係る検討を進めるとともに、一部の資料のデジタルデータ作成を行ってきた。</li> <li>文学館事業については、新聞・テレビなどを活用した広報により、文学館の認知度向上に努めた。  福岡ゆかりの文学者等について紹介する企画展等を開催したが、テーマにより参加者に増減が生じている。</li> </ul>													
○スケジュール													
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度								
文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	デジタルデータ化・活用の推進												
	デジタルデータの作成・蓄積、ホームページ掲載・展示・市民提供等												
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)												
	検討	システムの拡張・情報提供											



文学館の 利用拡大	総合図書館HP等での情報提供の充実			
	企画展, 常設展, 文学講座等の情報提供の充実			
	企画展の開催, 広報強化			
	企画展開催・報道機関等による広報強化			
	福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築			
構築	情報提供			

(5) 効率的で効果的な図書館運営

		部門	運営・図書・文書・映像	
項目	内容			
図書館運営の強化	① 運営方法の検討	<p>現在指定管理制度を導入している総合図書館および東図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。</p>		
	② 図書館ボランティアとの共働の推進	<p>図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。</p>		
		2013年度	2018年度	2023年度
	活動時間	4,084時間	4,500時間	5,000時間
図書館運営の強化	③ 職員の育成及び技術向上	<p>利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。</p>		
	④ 施設の有効活用などによる財源確保	<p>駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。</p> <p>また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。</p>		
		2013年度	2018年度	2023年度
	収入額	785千円	6,000千円	9,000千円
<p>○前期の振り返り</p> <p>①総合図書館の建物管理(2016.4～)及び東図書館の運営(2016.6～)について、指定管理者制度を導入。</p> <p>②書架整理や図書資料の修繕等を行うボランティアの新規申し込みを毎年実施。インターンシップ研修生を受け入れ。</p> <p>③全体研修として、接遇・クレーム・業務改善等の研修を実施。研究集会や県立図書館の研修への参加、保健所等による出前講座の実施(子育て支援や地域福祉等)。国立国会図書館のインターネット遠隔研修の受講(著作権等)</p> <p>④バナー広告等をはじめ、総合図書館駐車場を図書館利用者以外にも有料開放して収入を確保。雑誌スポンサー制度は継続性の観点から見送り。</p>				

○スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
運営方法の検討	モニタリング 実施・検証	公募 選定	総合（建物管理のみ）、東（運営）		
	運営方法 検討・決定	開館準備	早良南（仮称）		
ボランティア	活動内容の追加・実施				
職員の育成 及び技術向上	研修等の強化（分館での研修の充実）				
財源確保	駐車場収入による財源確保				
	新たな 財源の 検討	その他財源の確保			

※財源確保については、図書館へのふるさと納税寄付金の促進方法について検討。  
また、その他の財源としてデジタルサイネージや施設広告などの新たな財源確保について検討。

※ボランティア活動の内容については、イベント・ガーデニング・広報等、新たな分野の追加を検討・実施する

※図書館オリジナルのノベルティグッズを製作・販売

		部門	運営														
項目	内容																
情報発信の推進	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。																
		2013 年度	2018 年度	2023 年度													
	ホームページアクセス	224 万回/年	207 万回/年	230 万回/年													
	メールマガジン登録者数	0 人	285 人	800 人													
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017 年 9 月に HP をリニューアルし見やすさ、使いやすさを改善。</li> <li>・facebook や twitter, LINE など SNS で情報発信。</li> <li>・2016 年 5 月から月 1 回のメールマガジンを配信。</li> </ul>																	
<p>○スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019 年度</th> <th>2020 年度</th> <th>2021 年度</th> <th>2022 年度</th> <th>2023 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信の推進</td> <td>検討</td> <td colspan="4">実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 部門のイベント情報やお役立ち情報等を統括した情報誌の発行</li> <li>・都心部でのイベントで図書館PRを設置</li> </ul>							2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	情報発信の推進	検討	実施			
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度												
情報発信の推進	検討	実施															